

50014 家庭科教育法Ⅳ Teaching of Home Economics IV		3 年次～ 後期 2 単位	
担当者	川上 美智子	履修可能学科	F
		関連資格	教職必(F)
サブタイトル			
授業内容 ・ ねらい	[この授業のねらい] ・教科の目標に沿って、年間の指導計画を立てる。 ・教材、教具を活かした指導案の作成法を実習する。 ・授業の進め方、効果的なプレゼンテーション法を習得する。 [授業の概要] 平成15年度からの高等学校家庭科教育課程改訂では、「自ら学び、自ら考える力を育成する」を基本目標に据え、男女共同参画社会の推進、少子高齢化等への対応を考慮して、家族や生活の営みを人の一生との関わりの中で総合的に捉え、家庭生活を主体的に営む能力と態度を育てることを重視する」としている。なお、現行の家庭科は、普通教科「家庭」（「家庭基礎」「家庭総合」「生活技術」の科目）と、専門課程「家庭」（「生活産業基礎」等19科目）に2分割されている。普通教科「家庭」で扱われる男女共同参画社会を前提に、男女が協力して人の一生と家族福祉、衣食住、消費等、生活を創造するための能力・態度の育成と知識・技術を身につけさせるため、年間指導計画、授業構成、実践法について演習形式で学習させる。 また、平成24年から改定が予定されている新指導要領に挙げられた「環境に配慮したライフスタイル」、「生活設計の主体的な立案」などにも触れる。授業では、指導案を作成し、実際の授業を体験して、相互評価、まとめ等を行って行く。		
授業計画	1. 高等学校家庭科教育の歴史 2. 年間の指導計画 3. 指導案の作成法 4. 授業の実践（模擬授業）（第4回～第14回） 展開とまとめ（第4回～第14回） 講評と相互評価（第4回～第14回） 5. 全体講評		
教科書 参考書	教）『高等学校学習指導要領 家庭』及び『解説』（文部科学省） 教）『家庭基礎』（教育図書）		
評価方法	出席状況、授業態度、指導案の作成、プレゼンテーション能力を総合的に評価する。		
事前準備学習 履修条件等			